



1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：三荒弘道 副会長：高橋賢二 幹事：関口幸恵 クラブ会報・IT 委員会委員長：元吉裕員

例会日 毎週木曜日 12:15~13:30

会場 グランドホテル神奈中 2F

事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内

連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2024年 9月12日 第 3484 回 週報第 3484 号

本日 9月12日	会員数 62名	対象者 62名	出席者 43(43)名	出席率 69.35%			
前々回 8月23日	会員数 62名	対象者 62名	出席者 62(62)名	出席率 62.90%	MUP 0名	計 62名	修正率 100%

本日の卓話者ご紹介

平塚市災害対策課 主査 大平啓太様(右)
平塚市災害対策課 主事 牧田茉夕様(左)



卓話

災害現場で起こること！

平塚市災害対策課 主査 大平啓太

令和6年1月1日に発生した、能登半島地震の被災地には全国から支援が入りました。平塚市も様々な支援業務を実施しましたので、概要をお話します。

最初は緊急消防援助隊の活動です。発災直後から、輪島市で活動をしました。輪島市の土砂災害や朝市通りの火災現場で捜索救助活動を実施してきました。土砂災害の現場はアクセスが悪く、寒さの厳しい中、1時間以上かけて歩いて移動したそうです。

続けて、DMATの活動です。珠洲市総合病院で救急や発熱の外来患者の診療支援や、入院患者の転院搬送などの業務を行いました。

次に神奈川県と合同のチームで派遣された保健師の活動です。「在宅避難者の健康状態の把握と要支援者のフォロー対応」として、珠洲市で様々な支援チームが収集した紙媒体の在宅避難者の調査票をシステムへ入力する(電子化)する作業などを行いました。

最後に市役所の事務職員が多く派遣された志賀町の概

要です。私もこの町に派遣されました。志賀町は能登半島の根元の西部に位置し、2005年に志賀町と富来町が合併して誕生した町です。人口は約1万7千人で面積は本市の3倍ほどある町です。今回の地震では震度7を観測しました。

能登半島地震の発生を受けて、「応急対策職員派遣制度」に基づき総務省からの要請を受けた神奈川県から本市へ、派遣依頼がおこなわれ、神奈川県・県内市町混成のチームが志賀町に対し支援業務を行いました。冒頭でお伝えした通り延べ27名の事務職員が派遣され、物資支援業務、避難所の対応、罹災証明発行のための家屋調査、罹災証明発行業務を行いました。物資拠点での業務では、毎日届く物資を避難所まで配送するための仕分け等を行いました。この業務を私は担当しました。物資拠点といっても、役場の公用車の車庫を転用したものです。終日屋外での業務でしたので、厳しい寒さだったことが印象に残っています。この寒さの中でも役場の駐車場で車中泊をする被災者もいました。

避難所支援業務では様々な運営の支援を行いました。避難所には高齢者が多く、本市から派遣された職員は高齢福祉の業務を担当していたこともあり、軽い運動や認知症予防体操などを行いました。本市職員が派遣された避難所の特徴はパーティションを使用していない点です。地域コミュニティがしっかりとある地域でしたので、パーティションは不要だったそうです。寝るためのベッドは写真のような簡易ベッドや段ボールベッドを使用しています。

罹災証明書発行のための被害認定調査業務では、被災した家屋の程度を調査しました。罹災証明書発行業務では、先ほどの建物被害認定調査の結果を踏まえて志賀町役場内で発行業務を行いました。ワンストップ窓口で、罹災証明書の申請やその他の各種被災者支援受付を受けていました。場所は役場の会議室で応援職員が終日罹災証明書を発行し続けるという業務です。

駆け足で本市が実施した支援業務をお伝えいたしました。ここからは、私が派遣された石川県志賀町の状況をお伝えします。

志賀町は震度7を観測しましたが、輪島市や珠洲市と比較すると建物被害が少なかったのですが、この違いは



平塚市災害対策課主査 大平啓太様

、揺れ方の周期の違いによるものだと言われています。私が派遣された地震発生から3週間ほど経過したころの町の状況ですが、能登半島は分厚い瓦屋根の古い木造住宅が多いのが特徴で、志賀町もこのような家屋の多くが被害を受けています。倒壊を免れた家屋でも少なからず瓦の落下など被害を受けています。屋根瓦が被害を受けている建物は非常に多く。無被害の建物を探すほうが難しいような状態でした。その他、ブロック塀の倒壊や道路被害も多く見受けられ、特に橋脚の端部（両端）は隆起や沈下で大きな段差となっている所が多くありました。志賀町の被害概要は以上です。

私が対応した物資支援業務を実施する中で見た、毎日避難所へ配送される食事の内容ですが、その後に派遣された職員の報告を聞くと、私が派遣された1月中旬から3月末まで生野菜が少ないメニューが続いたようです。朝は菓子パンが2つ、昼はおにぎりが2つ、夕食はお弁当とカップラーメンです。お弁当は揚物や肉類が多く、避難所にはお年寄りが多くいるようでしたので栄養バランスが悪いと感じました。

保健師を中心に対策を検討して野菜ジュースや牛乳も配送するようにしましたが、基本的なメニューは3月末まで変わらなかったようです。避難所には食事は残しても構わない、塩分の取り過ぎに注意しましょう等を注意喚起する張り紙が貼られるようになりました。

志賀町の避難所は神奈川県チームが支援をした1か所を除いて、愛知県の応援職員が運営していました。テントのようなシャワー室があり、民間企業から提供された水を巡回して使用する入浴設備となっていました。断水が長期化しておりましてので、在宅避難者の方もシャワーを使用しにいられているようでした。給水所には断水が続いていましたので、日中は多くの方が給水しにいられていました。

志賀町役場富来支所のすぐ近くにあるスーパーでは、私が派遣された3週間後のころには食材や総菜、お弁当などは一通り揃っている様子でした。

ただ、避難所では食事が出ますし、炊き出しが行われたりしますので、多くの方はそちらを利用しており、町役場の職員は『自力で買い物をして頑張って生活をしている在宅避難者もいれば、在宅避難も可能なのに避難所で食事の提供などを受ける方もいる。』と複雑な心境を口にされていました。

令和6年能登半島では半島特有の地形と道路被害から支援が入りにくいという状況が発生しました。また、断水の長期化により在宅避難者もトイレの問題などが長引きました。

首都圏や平塚市と比較すると非常に人口が少ない地域での災害でしたが、被災者支援に関しては多くの課題が出ています。能登半島地震の課題を教訓にすることはもちろんですが、能登半島とは異なる環境にある本市に置き換えて様々な対策、取組を進めていく必要があると改めて感じました。

災害現場で起こること！

平塚市災害対策課 主事 牧田茉夕

令和6年1月から3月まで内閣府へ研修に行っていました。研修内容は災害時、国が被災自治体に設置する緊急災害現地対策本部の運営訓練を担当し、四国、九州、中部でそれぞれ訓練コントローラーをする予定でしたが、能登半島地震によりすべて中止となりました。その代わりに、能登半島地震の後方支援を担当することになりました。

業務内容は、現地派遣者などの移動手段・宿泊の確保、総理大臣や防災大臣等による被災地視察のロジ調整・ロジブック作成、視察当日の在京支援・随行などです。総理大臣、防災大臣のアテンドは、視察5日前ほどに現地入りし、先ほど照会したロジブック作成のため総理らの視察ルートを検討、調査します。また、関係者との調整や県、市、警察とも密に連携を取り合い、視察直前までくまなく事前確認をします。

総理大臣のアテンドの感想としましては、視察場所まで案内するのに、簡単な道順にもかかわらず、緊張から何度も何度も確認しないと不安であったり、視察初めに総理に対して「内閣府防災の牧田です。本日はよろしくお願いたします。それではご案内します。」のたった3文も覚えられない程緊張しました。ですが、一生モノの経験となりました。

内閣府での活動では、被災地への現地派遣もいたしました。七尾市は、能登半島地震においては他市町と比べれば被害の程度が抑えられていたこともあり、復旧復興のフェーズが一足早い印象でした。七尾市の内閣府リエゾンは1人で派遣されます。内閣府リエゾンの役割は、今後の体制、国の政策検討に向けて各市町の多くの情報

が必要となるため、情報収集を主な役割として派遣される。私が派遣した機関は、ちょうど国会のタイミングとも重なり、国会質疑の対応として急かつめ切がかなりタイトな依頼がくることもあった。また、政治家の視察受け入れ対応も業務の1つです。それ以外はリエゾンの裁量で必要な情報収集に取り掛かります。

わたしの場合は、七尾市のフェーズを鑑みて、被災者生活再建・支援にフォーカスして積極的に情報収集をした。毎日なるべく多くの部署に顔を出し、積極的なコミュニケーションを心掛け、困っていること・要望事項を吸い上げました。このように、内閣府リエゾンは、市町の要望を拾い上げて国に繋ぐ要素もあります。

また、利用できそうな補助制度を調べ内閣府以外の担当省庁へつなぐこともできます。市町からすれば、内閣府リエゾンは他の応援職員と違い、聞いてくるばかりで鬱陶しがられる対象として映る場合もありますが、積極的に内閣府リエゾンを利用して欲しいと思いました。

活動詳細としましては、このような1日の流れです。避難所では、テントによる区画整理や、段ボールハウスによるプライバシー保護がかなり進んでおり、防寒対策も施されており、イメージしていた避難所よりは快適なものでした。地域での避難所運営は応援職員が主となって避難所運営を行っていました。

七尾市職員は日中に1人のみ配置としていましたが、他市町では完全に職員は0人で地域による自主運営がなされていたところもあります。気になった点としては、避難所配備職員と応援職員の人数調整業務を、どの部署もたらい回しにしている状態になっており、結局、応援自治体統括の名古屋市の職員が今後の人員の見通しを行っていることに疑問を感じました。

災害廃棄物仮置き場は、七尾市では3箇所ありましたが、市の規模に対して仮置き場の面積が小さいな、というイメージがあり、最も混むところでは2h待ちも頻繁に発生していました。安全面を配慮して、仮置き場内では一方通行でなるべく最少人数で作業を行っていることから、大渋滞の原因と思われます。

災害廃棄物に対応にはいくつかのやり方がありますが、七尾市は市民に分別を徹底していただくスタイルで、平塚市の場合ではどのような対応が最善の方法か検討する必要があります。また、災害廃棄物仮置き場の渋滞はボランティア活動にも影響します。ボランティアの方には災害廃棄物の処理をお願いしているところですが、置き場の重体によってボランティア活動も滞ります。

また、対応するスタッフの人手不足も懸念されています。ボランティア数とスタッフの数は比例しますので、ボランティア活動のスピード化を図るには社協やJCの協力が欠かせません。七尾市でも、ボランティアセンターに市の職員は1.2名しかおらず、社協中心で活動していました。

活動を通じて感じたことはポジティブな印象としまして、士気が下がっていない、復興にむけて励んでいる姿が印象的でした。産業の立て直しは復興において欠かせないものですので、1つ、市が一丸となる復興のシンボルがあることが、いいなと思いました。



平塚市災害対策課主事 牧田茉夕様

卓話者ご紹介

災害対策課 主査 大平 啓太様

- ・昭和60年(1985年)6月11日生まれ(39歳)
- ・横浜市生まれ。3歳から平塚市在住
- ・経歴

平成20年(2008年)採用	
土木調整課(現土木総務課)	6年
障がい福祉課	5年
職員課付け(神奈川県災害対策課出向)	2年
災害対策課(現所属)	4年目
- ・趣味:野球、釣り、サーフィン

災害対策課 主事 牧田 茉夕様

- ・平成8年(1996年)12月6日生まれ(27歳)
- ・茅ヶ崎市生まれ、育ち、大学卒業後、平塚市在住
- ・経歴

平成31年(令和元年)(2019年)採用	
保育課	3年
災害対策課(現所属)	3年目
- ・趣味:ラテアート、ゴルフ





幹事報告

◎米山研修旅行について

米山奨学生・米山学友を対象とした米山一泊研修旅行が9月21日～22日に開催されます。クラブからは、米山奨学生のガウリさんと青山カウンセラーが参加されます。青山カウンセラーよりよろしくお願い致します。

◎地区大会懇親ゴルフコンペについて

9月24日(火)に地区大会親睦ゴルフコンペが相模カンツリー倶楽部で開催されます。クラブからは三荒会長を始め6名の会員が参加されます。

◎平塚市美術館より展覧会のご案内です

10/5より11/24まで、平塚市美術館で大正・昭和のモダニスト落谷虹児（ふきや こうじ）展が開催されます。今回も招待券を2枚頂きました。パンフレットのコピーを各テーブルに置いてありますのでご覧頂き、ご興味のある会員は事務局までお申し出ください。

◎今後の例会スケジュールについて

来週の9月19日(木)の例会は休日週ですので、休会です。次回の例会は9月26日(木)になります。なお26日は例会会場がこの会場向かいの撫子の間になりますので、お間違えの無いようお願いいたします。

◎例会への欠席連絡についてのお願いです

ご欠席のご連絡は毎週火曜日の午前11時までに事務局へお願い致します。事務局に電話が繋がらない等の場合は、関口に電話かLINEでも構いません。午前11時に集計をして神奈中さんにお食事の数を報告する事となっておりますので、時間厳守でのご協力をお願い致します。また、ご欠席の場合は、メイクアップのご活用、ご報告も併せてお願い致します。

委員会報告

○友好クラブ委員会 青山紀美代委員長

10月26日に花巻ロータリークラブが創立70周年を迎え、記念式典と祝賀会を行います。1泊2日でブランチエール花巻という駅前の会場に宿泊先も考えております。9月19日締め切りとしておりますので、ご回答の方よろしくお願ひします。



三荒会長より誕生日祝いを受取られた江頭会員(左)、三荒会長、塚田会員(右)

今週のお祝い

誕生日祝い・・・塚田順朗会員、江藤博一会員
結婚祝い・・・縄嶋智徳会員

メイクアップ (MUP) 0名

本日のスマイル 12名

ゲスト 3名

平塚市災害対策課 主査 大平啓太(おおひらけいた)様
平塚市災害対策課 主事 牧田茉夕(まきた まゆ)様
(株)芦川建設 代表取締役 芦川栄子様

ビジター 0名

卓話・行事予定

9月19日(木) 休日週の休会
9月26日(木) 入会記念卓話 塚田順朗会員

第8グループ例会変更

現在ございません

